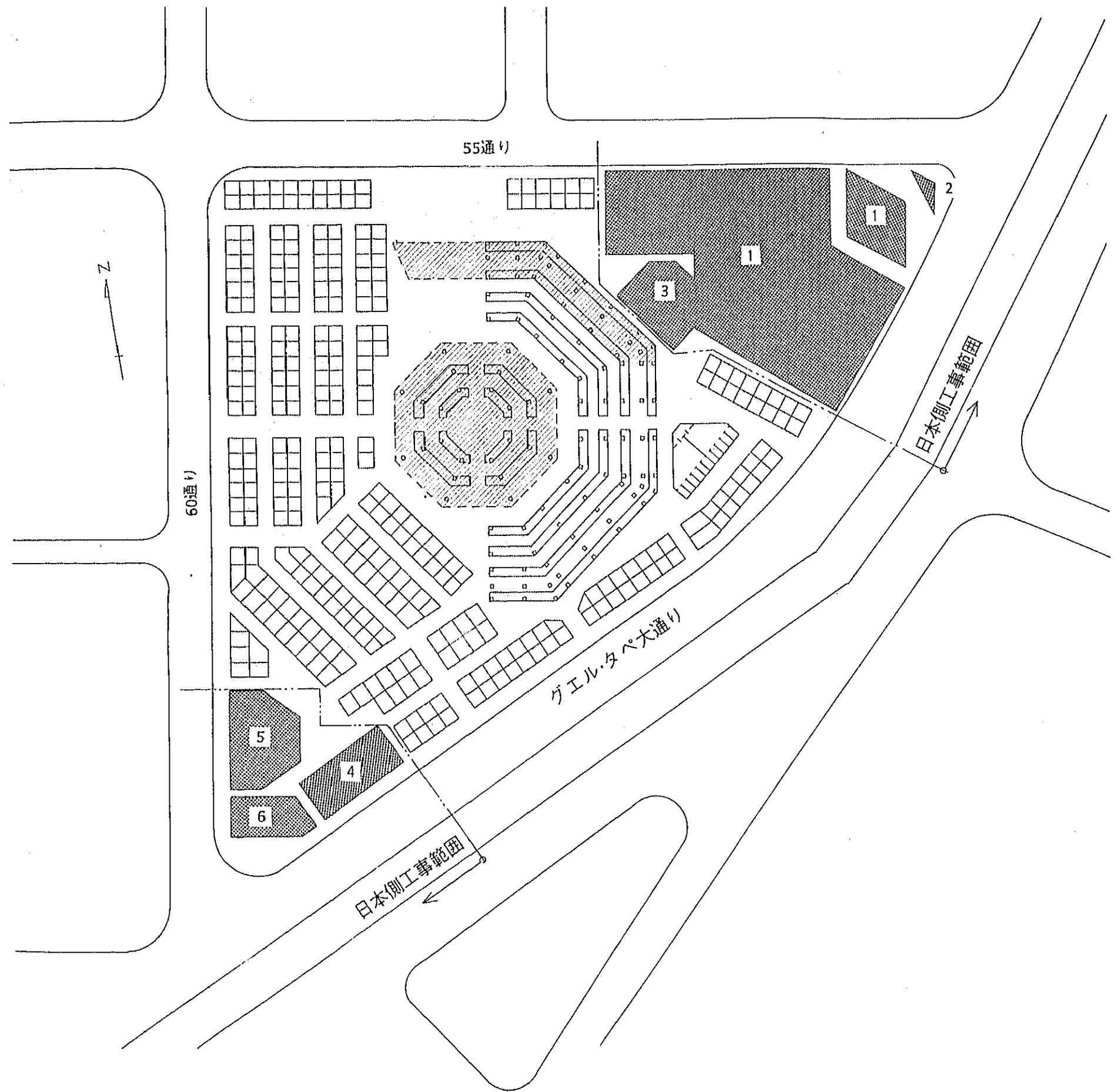





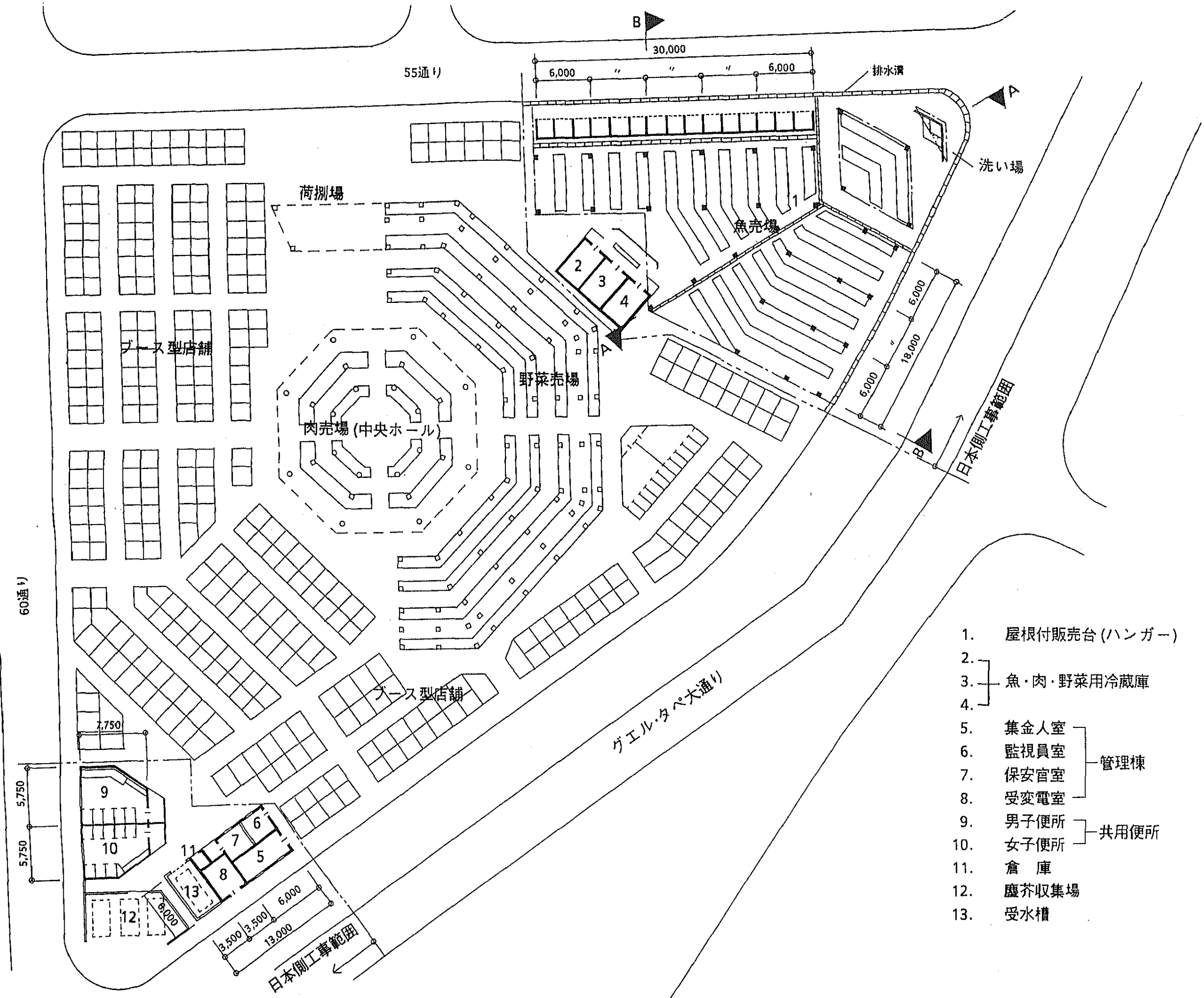
4-3-3 基本設計図



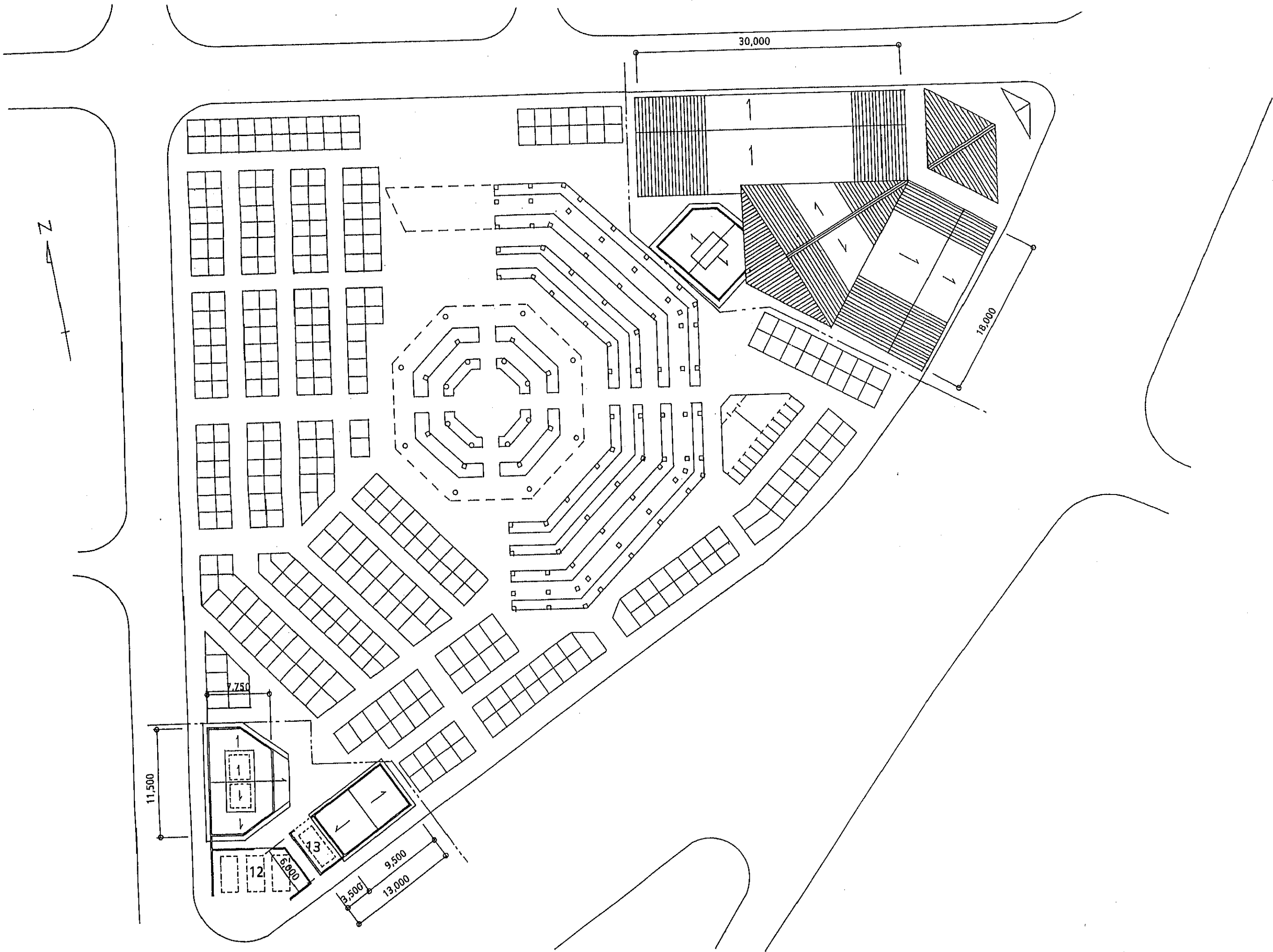
面積表

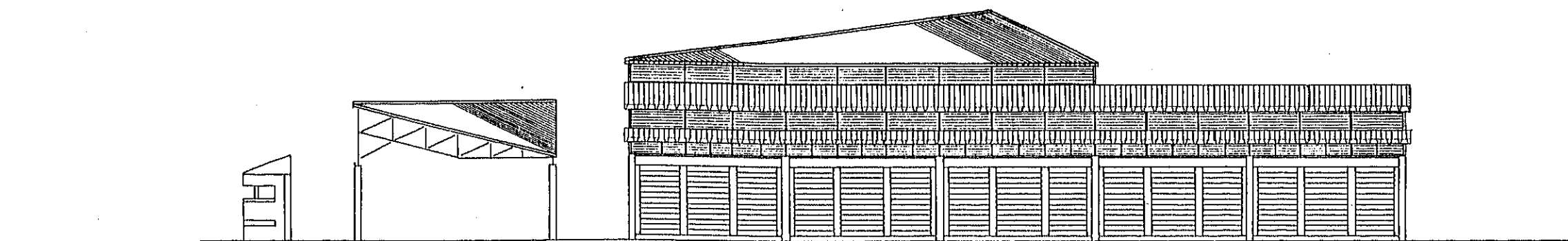
1	屋根付売場	741.5 m ²
2	洗い場	6.0 m ²
3	冷蔵庫棟	85.0 m ²
4	管理棟	78.0 m ²
5	便所	75.8 m ²
6	塵芥収集場	60.0 m ²

-  日本側工事範囲
-  セネガル側工事範囲
-  同上のうち既存建物改修部分

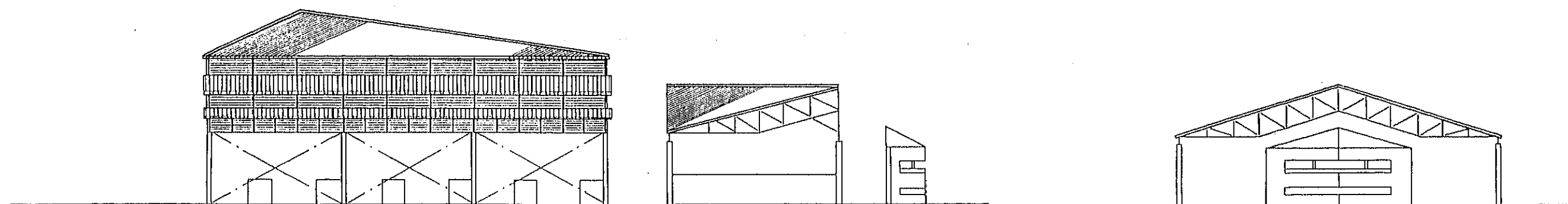


- 1. 屋根付販売台 (ハンガー)
- 2. } 魚・肉・野菜用冷蔵庫
- 3. }
- 4. }
- 5. 集金人室
- 6. 監視員室
- 7. 保安官室
- 8. 受変電室
- 9. 男子便所
- 10. 女子便所
- 11. 倉庫
- 12. 塵芥収集場
- 13. 受水槽



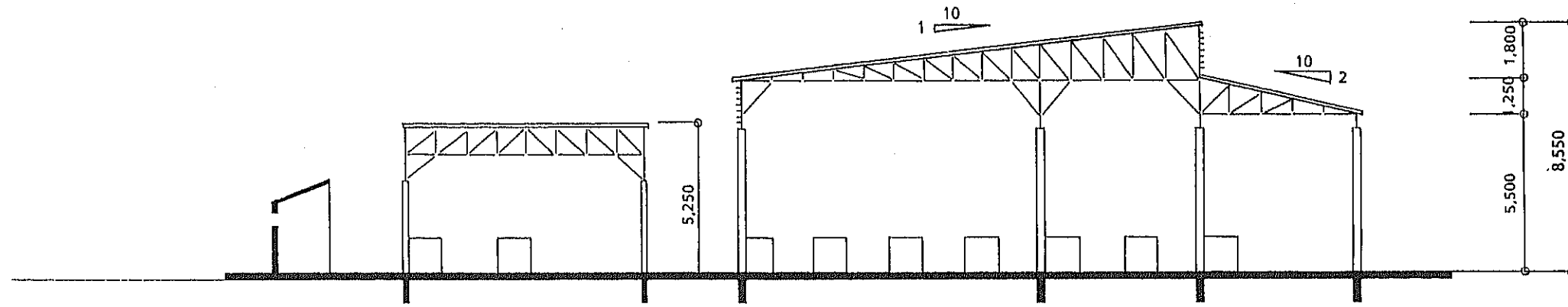


北立面図

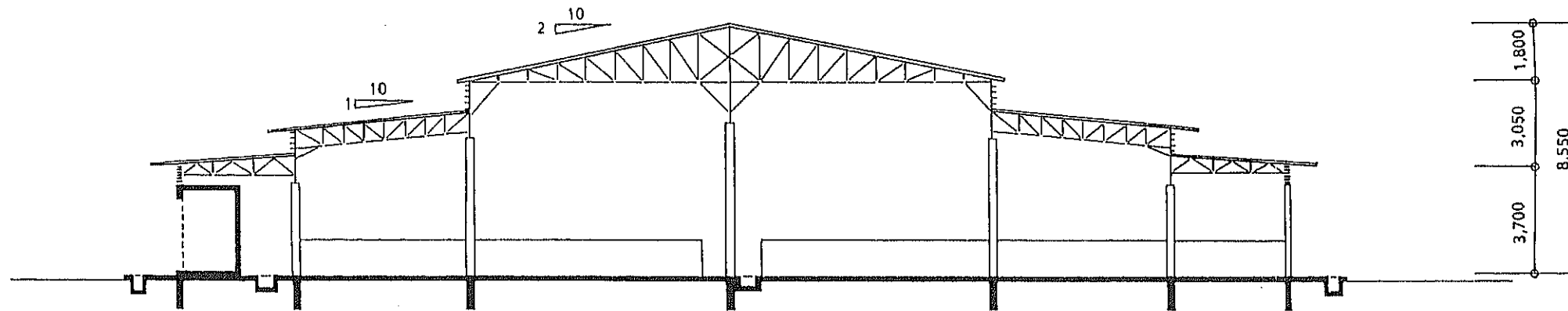


南東立面図

北東立面図

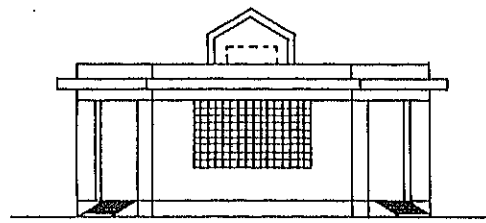


A-A 断面図

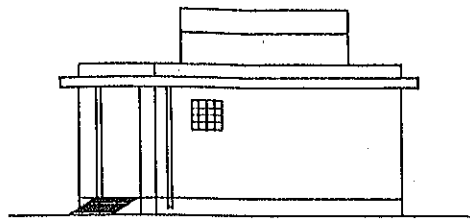


B-B 断面図

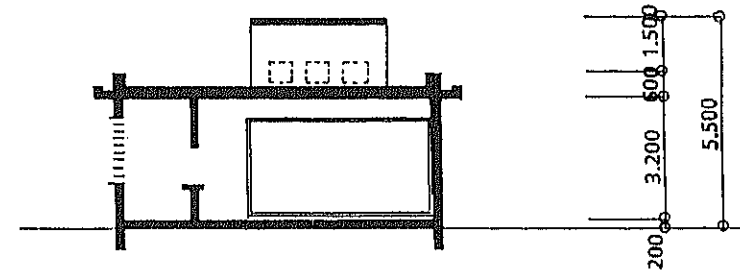
冷蔵庫棟



東立面図

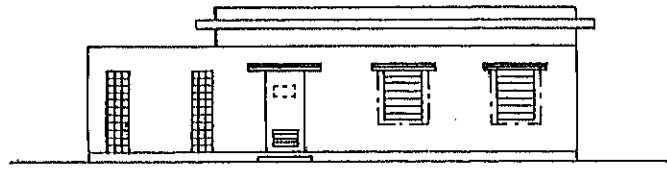


北立面図

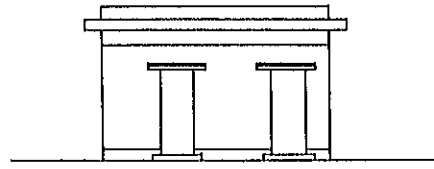


断面図

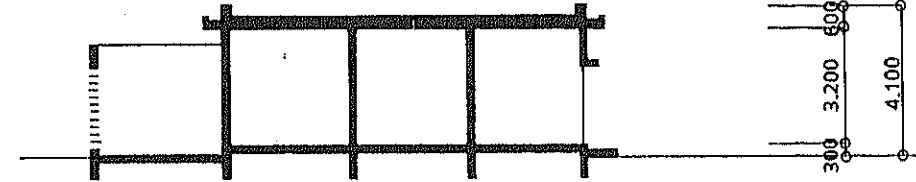
管理棟



南東立面図

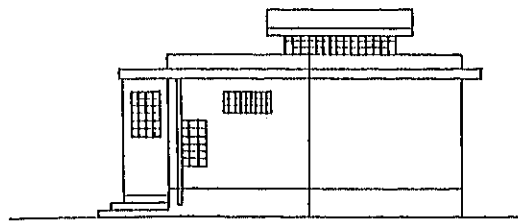


北東立面図

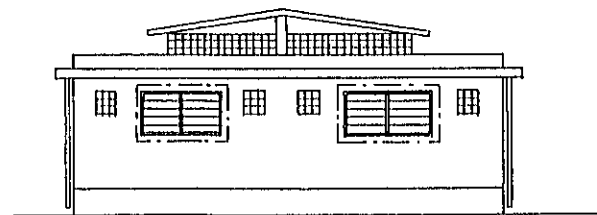


断面図

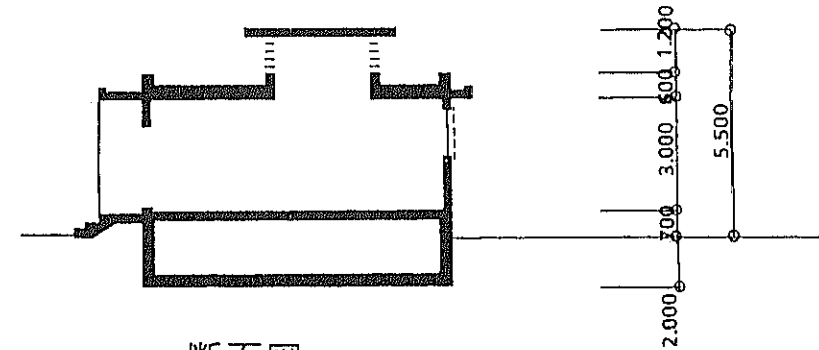
便所



北立面図



西立面図



断面図

4-4 施工計画等

4-4-1 施工方針

交換公文締結後、日本政府の無償資金協力の方針に沿って本邦コンサルタントとダカール市はコンサルタント契約を締結すると共に、基本設計調査の主旨に基づき、実施設計入札・工事契約業務、施工にかかわる詳細な検討と十分な意見の調整を行う。

施設の建設においては、日本法人の建設業者で海外工事の豊富な経験を持ち、予定される工期内に工事を完成させる能力を有し、かつ無償資金協力の仕組みをよく理解している者の中から、入札によって選ばれた者が行う。

工事に使用する資材・工法については、現地産材料の品質と供給能力、完成後の補修工事の容易さ、現地職人の技術力などを考慮して、可能な限り現地の資材を用い、現地で普及している工法を採用する。建設工事の開始に際しては、DAU(都市整備局)より経済財政計画省に届出を行い、電気の引込はSENELEC(セネガル電力公社)、上水の引込、汚水の放流はSONEES(セネガル上下水道公社)の確認を得て行う。関係各省庁との調整は内務省が担当する。

4-4-2 建設事情及び施工上の留意事項

(1) 建設事情

首都ダカールには、フランス系、イタリア系、レバノン系あるいは中国系の資本の入った大手建設会社から、特定の職種、例えば、塗装、設備等を行う下請業者まで、各種存在する。

ダカール市内では高層のビル建設も行われており、現地建設会社の施工能力は高い。

(2) 雨期による影響

ダカールの気候は、雨季(6月~10月)と乾季(11月~5月)に分かれ、雨季の降雨日数は45日前後である。一方、乾季の間には雨はあまり降らない。平均降雨量は一番雨の多い8月で250mm程度であるが、一日中降っていることはなく、雨季の建設工事が可能である。また、建設候補地までの道路事情も良く、雨季の影響はない。

(3) 法規

工事中の現地人に対して、労務及び労務費については労働基準局(Inspection du Travail)の監督下に行われる。

(4) 留意点

本プロジェクト実施における留意点は

- 1) 計画地が、現市場の一画であり、継続して使われる市場の機能に支障のない施工計画が必要である。在来の便所は、本プロジェクトの便所を最初に着工、これが竣工した後に解体撤去する。その後、屋根付売場台(大通り側部分)を着工する。
(表4-4参照)
- 2) 建設工事現場周辺は、一般市民の通行量が多く、敷地内に限らず、建設現場周辺での一般市民への安全を重視する。
- 3) 計画地が狭く、工事中に必要な仮設事務所・資材倉庫及び鉄筋・型枠等の加工を行う場所が、計画地内に確保出来ない。ダカール市は、近隣にこのための用地を確保し、日本の建設会社は無償貸与するべく便宜を図る必要がある。

(5) 輸送事情

本プロジェクトにおいては、日本から輸送する建設資材等はなく、現地にてすべて調達可能である。ダカール市内の道路は整備されていて、輸送上の問題はない。

4-4-3 施工監理計画

(1) 主要方針

- コンサルタントは、基本設計調査の方針に沿って、実施設計図書の作成および施工監理についての要員計画を行い、本プロジェクトの関係者・諸官庁間の的確な意見調整を行って、建設工事の円滑な進行と施設の完成を図る。
- 工事着工に先立ち、コンサルタントは、セネガル政府および請負業者と以下の項目を把握して、施行計画及び監理を行う。
 - 1) 日本側とセネガル側の工事範囲
 - 2) 資材調達及び現場搬入
 - 3) 労働条件及び現地建設会社の技術力
 - 4) 工事工程
- 施行監理は、スポット方式とし、本プロジェクトに対して監理能力を有する者を、工事の進捗に応じ適切な時期に現地へ派遣する。

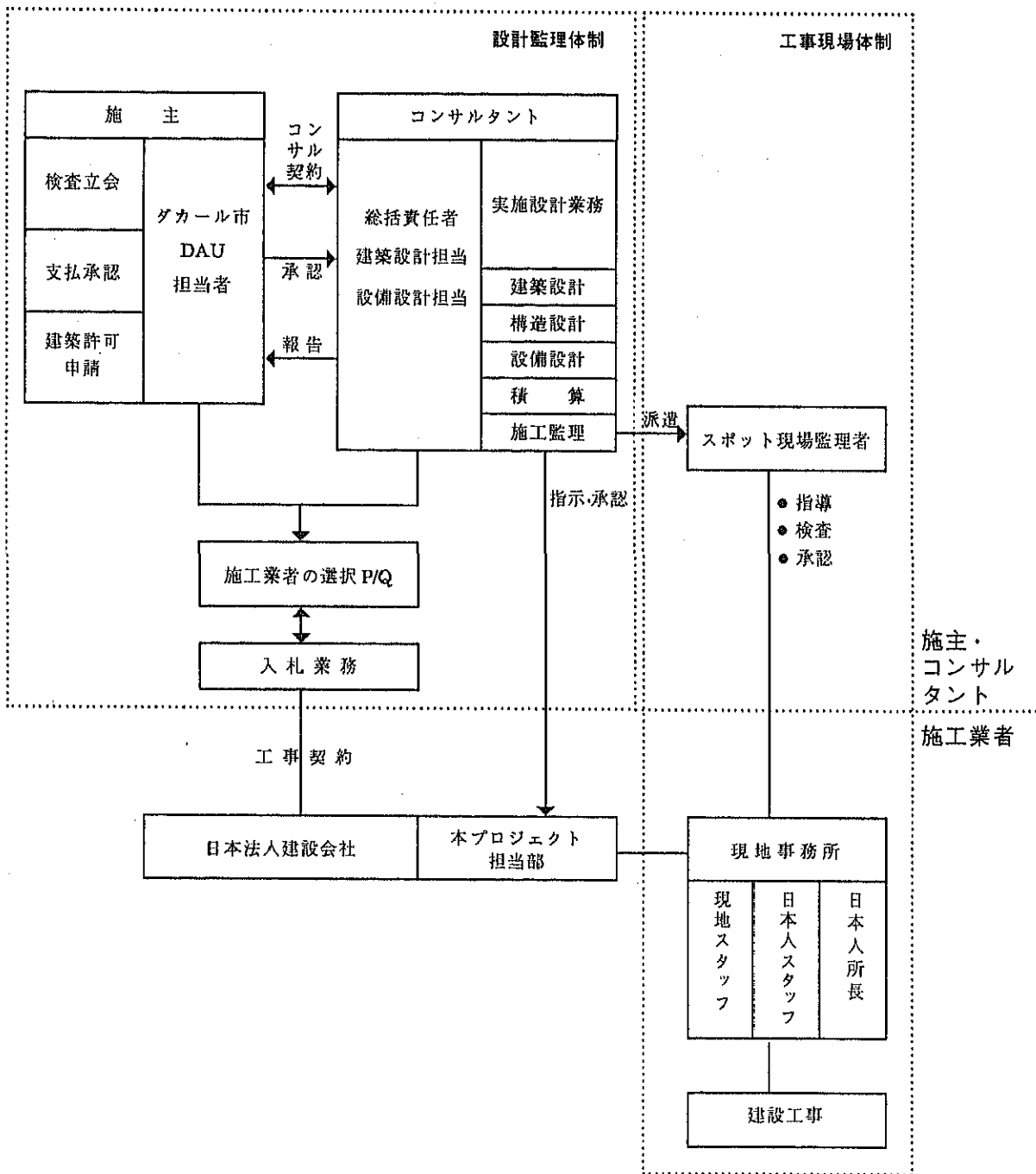
(2) 業務内容

コンサル契約締結後、作成された設計図書に基づき、コンサルタントは、施主の代理者として施主と協議しつつ次の業務を行う。

- 工事契約
入札参加業者の選定、工事契約書の作成、入札準備、入札業務工事費内訳明細書および工事計画書の審査
- 施工図の検査および承認
工事施工業者から提出される施工図、仕様書、材料見本資材の検査および承認等
- 工事の指導および検査
工事の進捗状態の確認と工程計画との照合と指導等
- 施主と日本国関連機関への報告
月例レポートを作成し提出する
- 工事契約に基づいた、各検査済証の発行
- 支払承認手続への協力
コンサルタント契約および工事契約に伴う施主が行う支払承認手続への協力

コンサルタントは、契約書の内容に沿って全ての工事が終了したことを確認の上、施設の引渡しに立会い、施主の受領証の発行を得て業務を完了する。

図4-5 施工監理体制



4-4-4 資材調達計画

建設材料は原則として現地で調達できる材料を使用する。現地産製品およびヨーロッパ諸国からの輸入品について、品質、施工性、価格、供給能力等について検討を行う。資機材調達区分は下記のとおり、すべて現地で調達可能なので、特に第3国調達を行う製品はない。輸入品を採用する場合でも、その製品がセネガル国で製作されていないものか、製作されていても品質が著しく劣るものに限った。

表4-3 資材調達先

材 料 名	調 達 先		備 考
	セネガル	日 本	
砂	○	-	奥地で採取した川砂が入手可能。 量、品質とも十分である。
砂 利	○	-	砕石工場がある。国内産の岩石を粉碎しており、 入手可能
セメント	○	-	国内にセメント工場が有る(原材料は輸入) 普通ポルトランドセメントは品質も良く、供給量も十分 である。
鉄 筋	○	-	スペイン、イタリア、フランスからの輸入品を現地で 調達
鋼 材	○	-	同 上
型枠材	○	-	現地調達木材
コンクリート ブロック	○	-	国内で生産されている。品質はあまりよくない。 現場製作可能
ガラスブロック	○	-	スペイン、フランスからの輸入品を現地で調達
木 材	○	-	市場で調達可能。品質にばらつきがある。
鋼製建具	○	-	鋼材をスペインより輸入し、現地で製作したものを使用
鋼製シャッター	○	-	同 上
窓用鉄格子	○	-	現地製品を調達
木製建具	○	-	同 上
金物	○	-	フランスからの輸入品を現地で調達
複合塗膜亜鉛鍍折版	○	-	同 上
ペンキ	○	-	現地製品を調達
タイル	○	-	スペインからの輸入品を現地で調達
プレファブタイプ 冷蔵庫	○	-	同 上

その他製品輸入材

- 衛生・電気工事に伴う器具および付属品
- 受変電設備機器

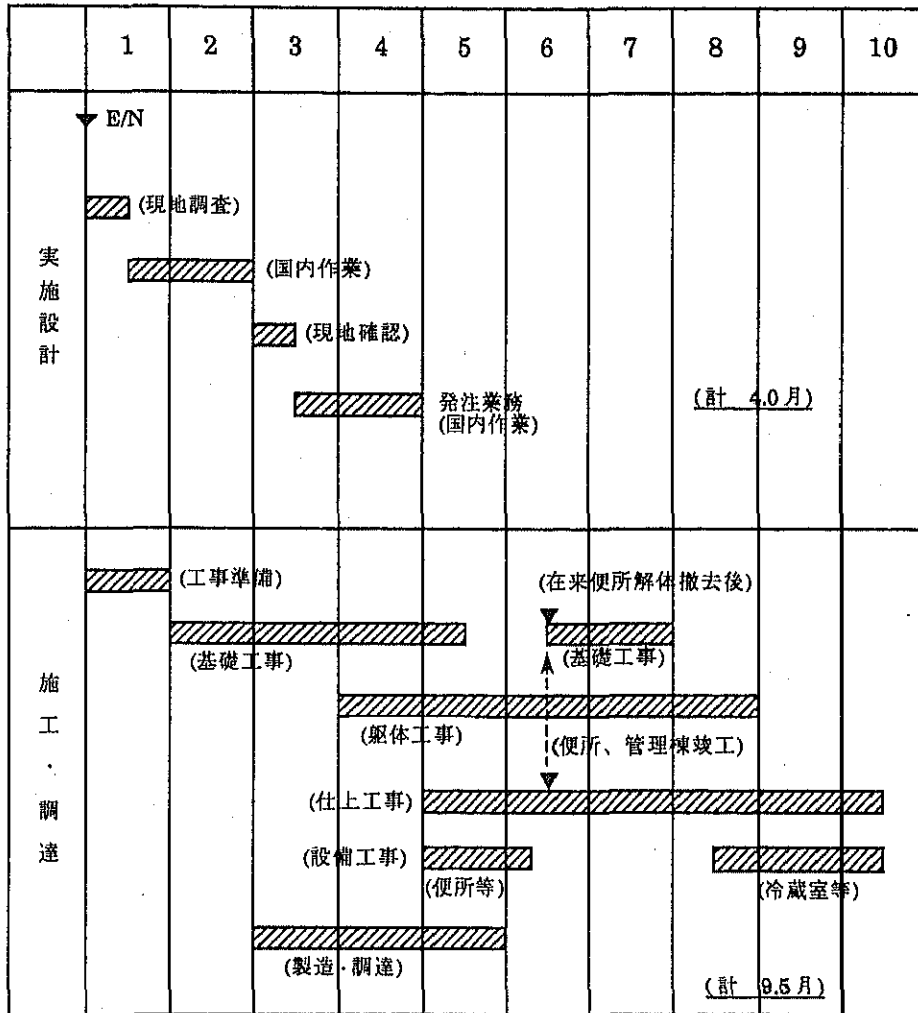
4-4-5 実施工程

本プロジェクトが日本国政府の無償資金協力によって実施される場合、その制度に従い概ね下記の手順で行われる。

- 1) 両国政府交換公文 (E/N) 締結
- 2) コンサルタント契約締結
 - 実施設計業務 詳細設計図、仕様書、構造計算書および予算書の作成
- 3) 実施設計図書のセネガル側による承認
- 4) 建設工事の入札業務
 - 新聞公示
 - 入札参加資格者の事前審査 (P/Q)
 - 入札
 - 工事契約・署名
- 5) 建設工事着工
 - 工事契約署名後、日本政府の認証を得て着工する

コンサルタント契約後の業務に要する日本側の期間は表 4-4 事業実施工程表に示すとおりである。

表4-4 事業実施工程表



4-4-6 概算事業費

建築計画および施工計画の方針に従って、日本国政府とセネガル国政府双方の事業負担区分と概算事業費を示す。

(1) 事業負担区分

本プロジェクトにおける日本側工事実施にあたっては、セネガル側で負担するべきものがあり、各々の建設工事に関わる負担区分は次表のとおりである。このうちセネガル側負担分のうち、既存施設の撤去工事は、日本側工事着工前までに終了する必要がある。

日本国政府	セネガル国政府 ※
<p>建設工事</p> <p>建物</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 屋根付販売台棟 2) 冷蔵室棟 3) 管理棟 4) 共同便所棟 5) 塵芥収集場 <p>インフラ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 給水設備(受水槽含む) 2) 排水設備(雨水・汚水) (但し日本側工事範囲に限る) 3) 受変電設備(トランス含む) <p>外構</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 街灯 2) 舗装 (但し日本側工事範囲に限る) 	<p>建設工事</p> <p>敷地の確保</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 建設用地 2) 仮設事務所および工事用作業場用地 <p>障害物撤去</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本側建設工事に障害となる既存建築物(在来冷蔵室)の撤去 <p>インフラ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 給水引込(給水メータ迄) 2) 電力引込(受変電室迄) 3相3線 30KV 50Hz <p>造園・植樹</p> <p>什器備品(家具・カーテン等)</p>

※ セネガル側が実施を予定する区域における工事は含んでいない。

上記の表に記された項目の外にセネガル側は以下の手続業務を行い、それに伴う諸費用を負担する。

- 1) 銀行取決め
- 2) 建設資機材に対する輸入税・国内税の免除
- 3) 契約に基づき、本プロジェクト実施に携る日本人に対してのセネガル国内で課せられる関税、国内税、その他に対する免除
- 4) 同上の日本人が業務遂行のためセネガル国に出入国、滞在することについての必要な便宜を与える
- 5) 本プロジェクトに対してのセネガル国における必要な法的手続

(2) 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費総額は、約2.37億円となり、先に述べた日本国とセネガル国との負担区分に基づく双方の経費内訳は、下記に示す積算条件によれば次のとおりと見積られる。

1) 日本側負担経費

事業費区分	
a) 建設費	2.057 億円
1. 直接工事	1.369 億円
2. 現場経費	0.371 億円
3. 共通仮設費等	0.317 億円
b) 設計・監理費	0.310 億円
合 計	2.367 億円

2) セネガル側負担経費

建物撤去費	793,000 FCFA (0.373百万円)
水道引込	170,000 FCFA (0.080百万円)
電力引込	253,000 FCFA (0.119百万円)

合 計 1,216,000 FCFA (0.572百万円)

3) 積算条件

- 積算時点 平成3年2月
- 為替交換レート 1 FF=23.47 円(過去6ヶ月間TTS平均レート)
1 FCFA=0.47 円
- その他 本計画は日本国政府の無償資金協力の制度に従い実施されるものとする。

第 5 章 事業の効果と結論

第 5 章 事業の効果と結論

セネガル国は著しい首都圏への人口集中に対して社会インフラストラクチュアの整備が立ち遅れており、直接、市民消費生活向上にかかわる物流機構の改善、近代化が急務であるとしている。本プロジェクトは国家経済社会開発計画に掲げられた、雇傭拡大、食料供給、生活の近代化の方針に沿うものであり、また、我が国にとっても無償資金協力プロジェクトとして先に実施された(1989年度)「ダカール中央卸売魚市場建設計画」を補うものでもある。

本プロジェクトが実施されれば次の様な効果が期待できる。

現状と問題点	本計画での対策	計画の効果と改善の程度
<p>1. グエルタペ市場は鮮魚卸売部門が郊外に移転し、本来の多目的小売市場としての機能を取り戻した後も、依然として衛生状態は劣悪である。</p>	<p>販売台(屋根付)を設ける。</p> <p>冷蔵庫を建設する。</p> <p>便所を改築する。</p> <p>塵芥収集場を整備する。</p> <p>舗装・排水溝を整備する。</p>	<p>舗装の上に直接魚を並べることがなくなる。商品に直射日光が当たることを防げる。これらによって衛生状態の改善が図れる。</p> <p>生鮮食品について一元的な衛生管理が図れる。生鮮小売商人の経営近代化に資する。</p> <p>水圧不足でつまり気味の便所を改善すると同時に、洗場を別に設けて使い易くし、塵芥の選別を容易にする。</p> <p>塵芥収集場を舗装し、清掃・水洗を容易にする。</p> <p>売場内を舗装すると共に、排水溝を全面的に改修し、塵芥などを選別し易く、清掃し易いものにする。</p>
<p>2. 施設は需要に応じられず狭隘、かつバラック建てのものが迷路の様に多く立ち並び、危険な状態である。</p>	<p>販売台(屋根付)を増設する。一部、ブース型店舗を建設する。</p> <p>保安用照明を設置する。</p>	<p>火災に対しても安全であり、衛生的であり、良い環境が得られる。</p> <p>夜間の保安を容易にする。</p>

本プロジェクトが実施されれば、単にグエルタベ市場の小売商人のみならず、後背地として抱える広い地域(いわゆる商圈)即ちグエルタベ、メディナ、ファンオック、ファンレジダンス、ファス、プラトゥ、ポワンE、メルモース等の市民一般、多くの消費者(いわゆる商圈人口)が裨益する。その数は約12万4,000人であり、ダカール市人口(67万1,000人)の約18%である。

本プロジェクトによって以上のような効果が期待されると同時に、本プロジェクトが広く市民生活の向上、改善に寄与し、商品流通の近代化に資するものであると共に税収入の増加につながり、他の市場改修、学校など公共施設の財源となり得ることから、本プロジェクトを無償資金協力で実施することは妥当であると判断される。

資 料 編

資料編

1. 関係者リスト

(1) セネガル共和国

Ministère de l'Economie, des Finances et du Plan (経済財政計画省)

- Mabingué NGOM : Economiste, Chef de la Division Programmation et Suivi des Projets et Programmes, Direction Coopération Economique et Technique (経済技術協力局計画課長)

Ministère de l'Intérieur (内務省)

- Abdoukhamane MOUSTAPHA DIA: Représentant du Direction des Collectivités Locales (地方局代表)
- Mamadou DIOUF : Adjoint au Directeur des Collectivités Locales (地方局次長)

Commune de Dakar (ダカール市)

- Mamadou DIOP : Maire de Dakar (ダカール市長)
- Assane DIALLO : Adjoint au Maire, chargé du Développement Urbain (都市開発担当副市長)
- Birame NDIAYE : Adjoint au Maire, chargé des Halls et Marchés (市場担当副市長)
- Babou NDAO : Adjoint au Maire, chargé de la Circulation et des Transports (流通交通担当副市長)
- Médoune GUEYE : Directeur de Cabinet du Maire de Dakar (市官房長)
- Djibril DIOUF : Conseiller Technique chargé de la Planification (計画担当顧問)
- Mamadou Gueye LO : Conseiller Technique (顧問)
- Ndiaga DIENG : Directeur de l'Aménagement Urbain (D.A.U.) (都市整備局長)
- Moussa Gouro SIDIBE : Chef de la Division des Etudes et de la Programmation, Direction de l'Aménagement Urbain (D.A.U.) (都市整備局調査計画課長)
- Catherine FAYE : Architecte, Division des Etudes et de la Programmation Direction de l'Aménagement

Urbain (D.A.U.) (都市整備局調査計画課建築担当)

- Abdou FAYE SALL : Architecte, Division des Etudes et de la Programmation Direction de l'Aménagement Urbain (D.A.U.) (都市整備局調査計画課建築担当)
- Yagowba Mowssa BA : Technicien Supérieur en Architecture, Division des Etudes et de la Programmation Direction de l'Aménagement Urbain (D.A.U.) (都市整備局調査計画課建築担当)
- Ousseynou FAYE : Aménagiste, Division des Etudes et de la Programmation Direction de l'Aménagement Urbain (D.A.U.) (都市整備局調査計画課都市整備担当)
- Lacoulvoitre SAMB : Chef de la Division des Halles et Marchés, Direction de l'Administration Général et des Finances (行政財務局市場課長)

Marché de Gueule Tapée (グエルタペ市場)

- M'Baye N'DIAYE : Président du comité de gestion (組合理事長)
- Niang SALLA : Vice Président du comité de gestion (組合副理事長)
- Youssoup HA DIEYE : Service de Sécurité (担当保安官)

SONEES (セネガル上下水道公社)

- Baba COULIBALY : Chef du Service Assainissement (下水課長)
- Cheikh LEYE : Les potable unité technique (上水技術課 業務係)

SENELEC (セネガル電力公社)

- Cheikh KA : Ingénieur Assistant, Division Moyenne Tension, Service Equipement de Réseau, Département Equipement (機材局中圧電力課技師補)

(2) 在セネガル日本国大使館

特命全権大使
参事官
二等書記官
同上

村田光平
森田瑞穂
塚原大貳
一方井克也

(3) 国際協力事業団セネガル事務所

所 長
担 当

朝 日 紀 樹
青 木 利 道

2. 調査団構成

(1) 基本設計調査 (1991年11月30日～12月19日)

総 括	町 田 哲	国際協力事業団無償資金協力調査部 基本設計調査第二課課長代理
市場改修計画	中 澤 伸 二	(株) 石本建築事務所
建 築 設 計	中 村 悟	同 上
設 備 設 計	大 村 悦 久	同 上
通 訊	中 野 憲 二	同 上

(2) ドラフト説明 (1992年3月23日～4月3日)

総 括	朝 日 紀 樹	国際協力事業団セネガル事務所長
市場改修計画	中 澤 伸 二	(株) 石本建築事務所
建 築 設 計	中 村 悟	同 上
通 訊	中 野 憲 二	同 上

3. 調査日程

(1) 基本設計調査 (1991年11月30日～12月19日)

日順	月日	曜日	行程・調査内容
1	11/30	土	成田空港発 (AF275) パリ空港着
2	12/1	日	パリ空港発 (AF323) グカール空港着
3	2	月	JICA打合せ、内務省地方自治局表敬、ダカール市長表敬 ダカール市協議、グエルタベ市場視察
4	3	火	ダカール市協議、大使招宴及び調査目的等説明、 都市整備局 (DAU) 協議
5	4	水	ダカール市協議、ダカール市ミニッツ協議、ミニッツ署名
6	5	木	(町田団長帰途)、類似施設(ケルメル、ンゲラウ、HLM各市場) 調 査、建設事情調査
7	6	金	グエルタベ市場調査、顧問 (CT) 協議、建設事情調査
8	7	土	団内協議 (施設内容検討)、建設事情調査
9	8	日	団内協議 (施設計画案協議)
10	9	月	施設計画案作成、建設事情調査
11	10	火	類似施設(カストル市場)調査、DAU協議(施設計画案)、CT回答協議
12	11	水	仮設店舗候補地(メルモス)視察、都市インフラ調査協議 (SONEES、SONATEL)、グエルタベ地質調査(現場試掘)、 JICA中間報告、CT回答協議
13	12	木	グエルタベ市場聴取調査、CEREEQ地質調査打合せ、サイト実測調 査
14	13	金	CT回答協議、DAU・市場課協議、建設事情調査回答回収
15	14	土	団内協議(調査状況確認とまとめ)、サイト実測調査
16	15	日	団内協議(同上)、仮設店舗地区視察確認
17	16	月	JICA打合せ、統計局資料収集、大使館報告、グエルタベ市場補足 聴取調査、都市インフラ(SENELEC)調査、CT・市場課協議
18	17	火	JICA報告 グカール空港発 (RK008) パリ空港着
19	18	水	パリ空港発 (AF276)
20	19	木	成田空港着

(2) ドラフト説明 (1992年3月23日～4月3日)

日順	月日	曜日	行程・調査内容
1	3/23	月	成田空港発 (AF275) パリ空港着
2	24	火	パリ空港発 (AF303) グカール空港着
3	25	水	JICA打合せ、経済大蔵計画省経済技術協力局表敬 大使館打合せ、内務省地方自治局表敬
4	26	木	グカール市協議、都市整備局 (DAU) 協議
5	27	金	都市整備局 (DAU) 協議、グエルタペ市場サイト実測、 顧問 (CT) 協議、市場課協議
6	28	土	団内協議 (資料整理)
7	29	日	団内協議 (資料整理)
8	30	月	CT協議、DAU協議、グカール市ミニッツ協議
9	31	火	大使館報告、DAU協議、グカール市長へ報告、ミニッツ署名
10	4/1	水	グカール空港発 (AF403) パリ空港着
11	2	木	パリ空港発 (AF276)
12	3	金	成田空港着

4. ミニッツ

(1) 基本設計調査

PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS
SUR L'ETUDE DU PLAN DE BASE
POUR LE PROJET DE REHABILITATION DU MARCHÉ DE GUEULE TAPEE
EN REPUBLIQUE DU SENEGAL

Sur la base des résultats de l'étude préliminaire, l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA) a décidé de procéder à l'Etude du Plan de Base pour le Projet de Réhabilitation du Marché de Gueule Tapée en République du Sénégal (ci-après désigné par "le Projet").

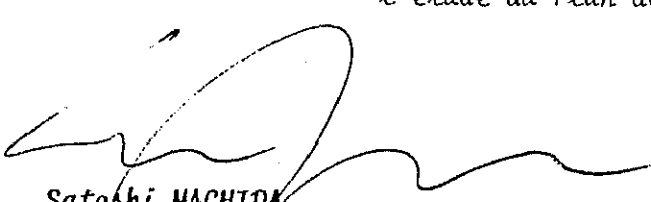
La JICA a envoyé au Sénégal une mission d'étude dirigée par Monsieur Satoshi MACHIDA, Directeur adjoint de la Division II de l'Etude du Plan de Base pour la Coopération Financière Non-Remboursable, JICA, pour mettre en oeuvre l'Etude du Plan de Base du 1er au 16 Décembre 1991.


La mission a eu des entretiens avec les autorités concernées du Gouvernement du Sénégal et mis en oeuvre l'enquête sur place.

Suite aux discussions et à l'enquête sur place, les deux parties ont confirmé les articles principaux mentionnés dans l'Annexe ci-jointe.

La mission poursuivra les études et préparera le rapport de l'étude du Plan de base.

Fait à Dakar, le 4 Décembre 1991


Satoshi MACHIDA
Chef de Mission
Pour l'Etude du Plan de Base,
JICA


Mamadou DIOP
Maire de Dakar

ANNEXE I

1. Objet du Projet

Le présent Projet a pour but d'améliorer la fonction de la vente par la réhabilitation partielle du Marché de Gueule-Tapée.

2. Site du Projet

Comme il est indiqué en Annexe I-1 et I-2, le site du Projet se situe au Marché de Gueule-Tapée de la ville de Dakar, République du Sénégal.

3. Organisme responsable et Ministère de tutelle

- (1) Organisme responsable : Commune de Dakar
- (2) Ministère de Tutelle Ministère de l'Intérieur

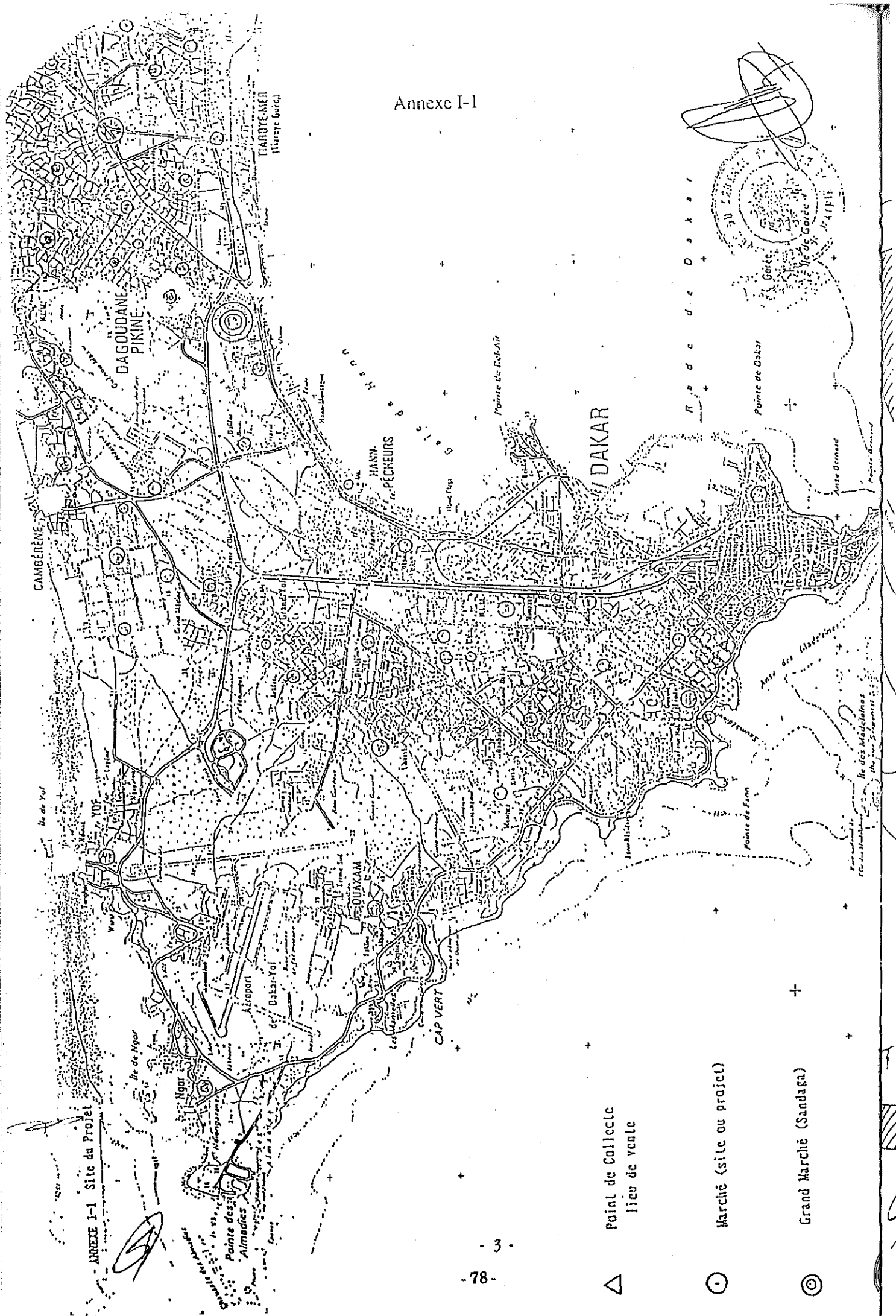
4. Articles demandés au Gouvernement du Japon par le Gouvernement du Sénégal

A l'issue des discussions avec la mission d'étude, la partie sénégalaise a demandé définitivement les articles mentionnés ci-dessous dans la zone indiquée en annexe I-1 et I-2 pour la partie japonaise, les autres zones du marché de la Gueule Tapée doivent être aménagées par la partie sénégalaise.

La partie japonaise devra effectuer les travaux ci-après :

- 1 - Construction d'un édicule et d'une décharge publique
- 2 - Construction d'un poste de transformation et d'une (ou des chambre(s) froide(s)
- 3 - Construction d'un hangar avec étals
- 4 - Installation du réseau électrique
- 5 - Revêtement du sol des emplacements et constructions de fossés d'évacuation des eaux.

Annexe I-1

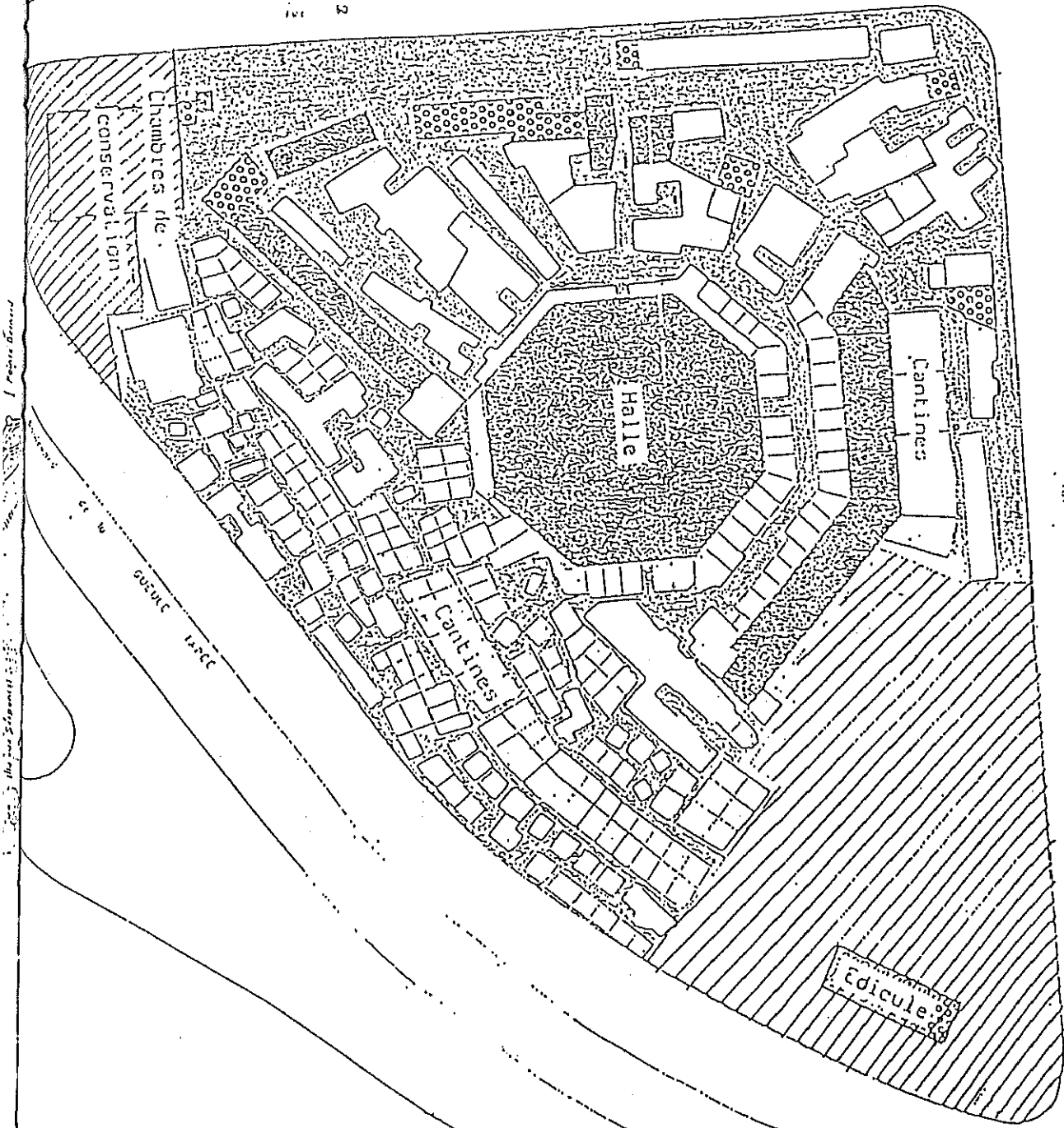


ANNEXE I-1 Site du Projet

Point de Collecte
lieu de vente

Marché (site ou projet)

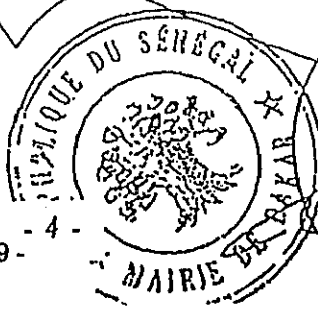
Grand Marché (Sandaga)



ETAT ACTUEL. DU MARCHÉ DE
GUEULEL TAPEE



Limite des travaux demandés
au Gouvernement du Japon



ANNEXE II

Mesures nécessaires à prendre par le Gouvernement de la République du Sénégal, si la Coopération Financière Non-Remboursable du Gouvernement du Japon lui est accordée pour le Projet.

- (1) Préparer le site pour le Projet
- (2) Enlever les obstacles existants dans l'enceinte du Site et procéder au nivellement du terrain, avant le commencement des travaux de construction.
- (3) Fournir jusqu'au Site du Projet les services généraux nécessaires : la fourniture de l'électricité, l'alimentation en eau, l'évacuation des eaux et la mise à disposition du système téléphonique, etc. Pour cela, réaliser :
 - 1) Ligne d'alimentation électrique jusqu'au site
 - 2) Canalisation d'alimentation en eau de ville jusqu'au site
 - 3) Canalisation d'évacuation des eaux jusqu'au site
 - 4) Ligne téléphonique jusqu'à la plaquette principale de connexions du bâtiment
- (4) Prendre en charge les frais bancaires découlant de l'Arrangement Bancaire (accord bancaire) avec une banque japonaise agréée pour le change.
- (5) Exonérer les nationaux japonais des droits de douane, des taxes intérieures et d'autres charges financières qui pourraient être imposées par le Gouvernement du Sénégal, à l'égard de la fourniture des produits et des services effectués en vertu des contrats vérifiés.
- (6) Accorder aux nationaux japonais intervenant dans la construction, la fourniture des équipements et des services effectués conformément aux contrats vérifiés, les facilités nécessaires pour entrée et leur séjour au Sénégal.
- (7) Assurer que les installations et équipements fournis dans le cadre de la coopération financière non-remboursable seront entretenus et utilisés d'une manière convenable et efficace.
- (8) Prendre en charge toutes les dépenses nécessaires pour la construction des installations, le transport et la mise en place des équipements, autres que celles supportées par la Coopération Financière non-remboursable.

5. *Système de la Coopération Financière Non-Remboursable du Gouvernement du Japon.*

(1) *Le Gouvernement de la République du Sénégal a compris le système japonais de la Coopération Financière Non-Remboursable, tel qu'il a été expliqué par la mission d'étude.*

(2) *Le Gouvernement de la République du Sénégal prendra les mesures nécessaires indiquées en Annexe II, pour mener à bien le Projet, si la Coopération Financière Non-Remboursable lui est accordée.*

6. *Calendrier de l'étude du plan de base.*

(1) *L'Ingénieur-Conseil procédera à l'étude au Sénégal jusqu'au 16 Décembre 1991.*

(2) *La JICA préparera en français un projet de rapport d'étude du plan de base, puis enverra au Sénégal une autre mission vers mars 1992 pour expliquer le contenu dudit projet de rapport à la partie sénégalaise.*

(3) *Une fois ce projet de rapport accepté par la partie sénégalaise, la JICA établira le rapport final et l'adressera au Gouvernement de la République du Sénégal avant Juin 1992.*

(2) ドラフト説明

PROCES-VERBAL DE DISCUSSIONS SUR
LE RAPPORT PROVISOIRE RELATIF AU
PROJET DE REHABILITATION DU MARCHÉ DE GUEULE TAPEE
EN REPUBLIQUE DU SENEGAL

En réponse à la demande formulée par le Gouvernement de la République du Sénégal sur le Projet de Réhabilitation du Marché de Gueule Tapée (désigné ci-après par le "Projet"), le Gouvernement du Japon a décidé d'effectuer une Etude du Plan de Base et l'a confiée à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA). La JICA a alors envoyé au Sénégal du 1er décembre au 16 décembre 1991, une mission dirigée par M. Satoshi MACHIDA, Directeur Adjoint de la Division II de l'Etude du plan de base, Département d'études pour la Coopération Financière Non-Remboursable JICA, en vue de procéder à l'Etude du Plan de Base.

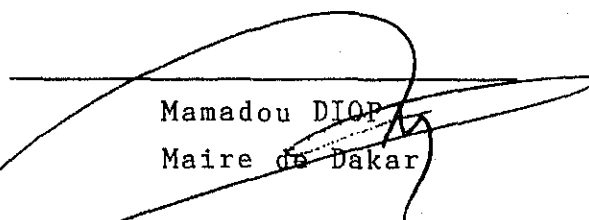
La JICA a analysé les résultats de ladite étude et a rédigé un rapport provisoire. Pour en expliquer et discuter le contenu avec les autorités compétentes de la République du Sénégal, la JICA a envoyé au Sénégal, du 24 mars au 01 avril 1992, une autre mission dirigée par M. Noriki ASAHI, Représentant Résident du Bureau de la JICA au Sénégal.

Après les discussions sur le contenu du rapport provisoire, les deux parties se sont mises d'accord sur la nécessité de recommander à leur Gouvernement respectif d'examiner les principaux points d'accord ci-joints, en vue de réaliser le présent Projet.

Fait à Dakar, le 31 mars 1992



Noriki ASAHI
Chef de Mission
JICA



Mamadou DIOP
Maire de Dakar

PRINCIPAUX POINTS D'ACCORD

1. La partie sénégalaise a marqué son accord sur le contenu de l'Etude du Plan de Base proposé dans le rapport provisoire.
2. Il a été confirmé que la partie sénégalaise avait suffisamment compris le système de la Coopération Financière Non-Remboursable du Japon applicable au Projet et prendrait en cas de mise en oeuvre de ladite Coopération, les mesures nécessaires tant pour les conditions citées dans l'Annexe II du Procès-verbal signé le 04 décembre 1991, lors de l'Etude du Plan de Base, que pour réserver à proximité du Site un terrain suffisant aux installations provisoires requises pour l'exécution des travaux à savoir; bureau de chantier, magasin de stockage des matériaux et zone de préparation des travaux.
3. En cas de mise en oeuvre de ladite Coopération, la partie sénégalaise s'engage à assurer le budget et le personnel nécessaires pour exploiter et maintenir correctement et efficacement le Marché de Gueule Tapée.
4. La Partie Japonaise remettra à la Partie Sénégalaise dix (10) exemplaires du rapport final sur le présent Projet à la fin du mois de juin 1992.

ミニッツ仮訳

(1) 基本設計調査

セネガル共和国グエル・タベ市場改修計画基本設計調査にかかる議事録

事前調査結果に基づき、国際協力事業団(JICA)はグエル・タベ市場改修計画(以下プロジェクトと称す)について基本設計調査を行うことを決定した。

JICAは国際協力事業団無償資金協力調査部基本設計調査第二課課長代理 町田哲氏を総括とし、同国滞在予定を1991年12月1日から同16日とする調査団をセネガル国に派遣する。

調査団はセネガル政府の関係者と協議を重ね、調査地域において現地調査を行った。

協議と現地調査の過程で、両者は付属書に示す主要項目について確認し合った。調査団は今後も作業を重ねて、基本設計調査報告書を準備するものである。

ダカールにて、1991年12月4日

(署名)

(署名)

町 田 哲
総 括
基本設計調査団
J I C A

Mamadou DIOP
ダカール市長

付 属 書 Ⅰ

1. 目 的

本プロジェクトは、グエルタペ市場の一部改修により、販売機能の改善を図ることを目的とする。

2. プロジェクト・サイト

プロジェクト・サイトは付属書 I-1及びI-2に示される如く、セネガル国ダカール市にある。

3. 責任機関および監督省庁

- (1) 責任機関： ダカール市
- (2) 監督省庁： 内務省

4. セネガル政府から要請された事項

基本設計調査団と協議の結果、セネガル側は最終的に、付属書 I-1及び I-2に示される区域における下記の事項を日本側へ要請した。グエルタペ市場の他の区域については、セネガル側が実施するものである。

日本側は次の工事を行うものとする。

- ① 便所及び塵芥収集場の建設
- ② 変電室及び冷蔵室の建設
- ③ 屋根付き売場及び販売台の建設
- ④ 電気配線
- ⑤ 舗装及び排水溝の設置

5. 日本の無償資金協力システム

- (1) セネガル共和国は、調査団によって説明された日本の無償資金協力システムを理解した。

- (2) セネガル政府は、日本政府が本プロジェクトの無償資金協力を実施する場合、プロジェクトの円滑な進展のために付属書 II に述べられている必要な措置をとるものとする。

6. 調査スケジュール

- (1) コンサルタントはセネガル国において1991年12月16日迄、更に調査を続行する。
- (2) JICAはフランス語にて報告書ドラフトを準備し、1992年3月頃その内容を説明するためにミッションを派遣する。
- (3) セネガル側によって基本的にこの報告書の内容が受け入れられた場合、JICAは最終報告書を完成し、1992年6月迄にセネガル政府にこれを送付する。

付 属 書 Ⅱ

無償資金協力が実施される場合、セネガル政府がとるべき措置

1. プロジェクト・サイトを確保すること。
2. 工事開始以前にサイトの障害物を撤去し、平坦に整地すること。
3. プロジェクト・サイトまで電力、給水、電話、下水の供給その他付帯する設備を行うこと。
 - 1) サイトまでの配電
 - 2) サイトまでの市水本管
 - 3) サイトまでの公共下水本管
 - 4) 建物の主端子盤までの電話引き込み
4. 銀行取極めに基づく日本外国為替銀行の銀行業務手数料を負担すること。
5. プロジェクトに従事する日本人が建設資機材調達あるいは役務の調達に当たっての支払に関して関税及び国内税などの免除の措置をとること。
6. 認証された契約に基づく資材供給、および工事に関わって、その業務が必要とされる日本人がセネガル国へ業務遂行のために入国、あるいは滞在するに当たって必要な便宜を与えること。
7. 無償資金協力によって建設された施設、購入された機材を的確且つ、効果的に維持、使用すること。
8. 施設建設、輸送、機材設置に必要であって、無償資金協力が負担する範囲以外のすべての費用を負担すること。

(2) ドラフト説明

セネガル共和国グエル・タベ市場改修計画報告書案にかかる議事録

グエルタベ市場改修計画(以下プロジェクトと称す)にかかるセネガル政府の要請を受けて、日本国政府は基本設計調査を実施することとし、国際協力事業団(JICA)に委託した。JICAは1991年12月1日から12月16日まで、国際協力事業団無償資金協力調査部基本設計調査第二課課長代理 町田 哲を団長とする調査団をセネガル共和国に派遣した。

JICAは上記調査結果を分析し、報告書案を作成した。同報告書の内容をセネガル共和国政府関係者に説明し、且つ討議するために、1992年3月24日から4月1日まで、同事業団セネガル事務所長 朝日紀樹を代表とする調査団を現地へ派遣した。

報告書案の討議の後、両者は本計画を実施するため以下に添付する基本的合意事項を、それぞれの政府に勧告する必要性について合意に達した。

ダカールにて、1992年3月31日

(署 名)

(署 名)

朝 日 紀 樹
総 括
調 査 団
J I C A

Mamadou DIOP
ダカール市長

基本合意事項

- 1) セネガル側は報告書案に示された、基本設計の内容について同意した。
- 2) セネガル側は本プロジェクトに適用される日本国政府無償資金協力制度を十分理解し、同協力が実施された場合には、1991年12月4日に署名された基本設計調査時の議事録・付属書Ⅱに示されている事項及び以下の内容を含めて必要な処置を講じるものであることを確認する。

工事中に必要な仮設事務所、資材倉庫及び資材加工のための用地をサイトの近隣に確保すること。

- 3) 上記協力が実施された場合、セネガル側はグエルタペ市場の運営及び維持に必要な人員及び予算を確保することを約束する。
- 4) 日本側はセネガル側に対し、本プロジェクトの最終報告書を1992年6月末に10部提出するものとする。

5. 収集資料

- Plan d'Orientation pour le Développement Economique et Social 1989 - 1995 (VIII^e PLAN)
octobre 1989
Ministère du Plan et de la Coopération
- Plan Régional de Développement Intégré de la Région de Dakar (Tome I)
Ministère du Plan et de la Coopération, Ministère de l'Intérieur
- Programme Triennal d'Investissements Publics 1990 - 1993 mars 1990
Ministère de l'Economie et des Finances, Direction de la Dette et des Investissements
- Commune de Dakar - Premier Plan de Développement Economique & Social
1985/86 1989/90 janvier 1987
- Note d'Analyse du Commerce Extérieur 1988 - 1989
Ministère de l'Economie, des Finances et du Plan, Direction de la Prévision et de la
Statistique
- Répertoire des Villages - Région de Dakar 1988
Ministère de l'Economie, des Finances et du Plan, Direction de la Prévision et de la
Statistique
- Situation Economique, Edition 1988
Ministère de l'Economie, des Finances et du Plan, Direction de la Prévision et de la
Statistique
- Commune de Dakar - Budget - Gestion 1991 - 1992
- Politique de l'Habitat - Etude Préliminaire, Estimation des Coûts de Réhabilitation et de
Rénovation des Marchés Dakarois O.T.U.I. - U.N.F.O.H.L.M. - E.P.A.D. - O.T.H.
habitation
- Projet de Réhabilitation des Marchés : Kermel, Sandaga et Tilène Commune de Dakar
- Maîtrise des Projets d'Aménagement Urbain : Aménagement des Marchés Dakarois (Etude
de Cas : Castors) 1991

JICA

